



いちのへまち 地域おこし協力隊 vol.11



大平直人



こんにちは！

一戸町地域おこし協力隊、商工観光課配属の大平です。皆さんは「春」をどのような気持ちで迎えますか？私は今年の3月で協力隊を退任いたします。今後については、未だに明言はできませんが、何気ない会話の中にヒントがあると思っています。

人や自然との関係を大切にし、できることから「イメージと実践」を繰り返して実力を身につけていきたいです。

出身	宮城県仙台市
着任	2020年5月
活動内容	観光振興、遊具ひろばの整備
趣味	食べること・飲むこと、バスケット
得意なこと	球技、歌うこと

みんなの遊具広場



今年度は、奥中山高原にある「遊具ひろば」の整備を行いました。5月の支障木の枝払いから始まり、看板と木製遊具の撤去、長さ110m以上のローラー滑り台の部品交換を行いました。

11月からは住民や事業者の方々と「みんなの遊具ひろばプロジェクト」と題して、遊具ひろばをどんな場所にするかを話し合いました。「みんなの」というキーワードには多くの苦労がありました。結論を出す、というゴールに向かって進むしかない！と多くを学ばせていただきました。

協力隊 大平直人のFacebookページ

遊具ひろばの話し合いの様子を紹介しています。
気になる方はこちらから→



協力隊を卒業します

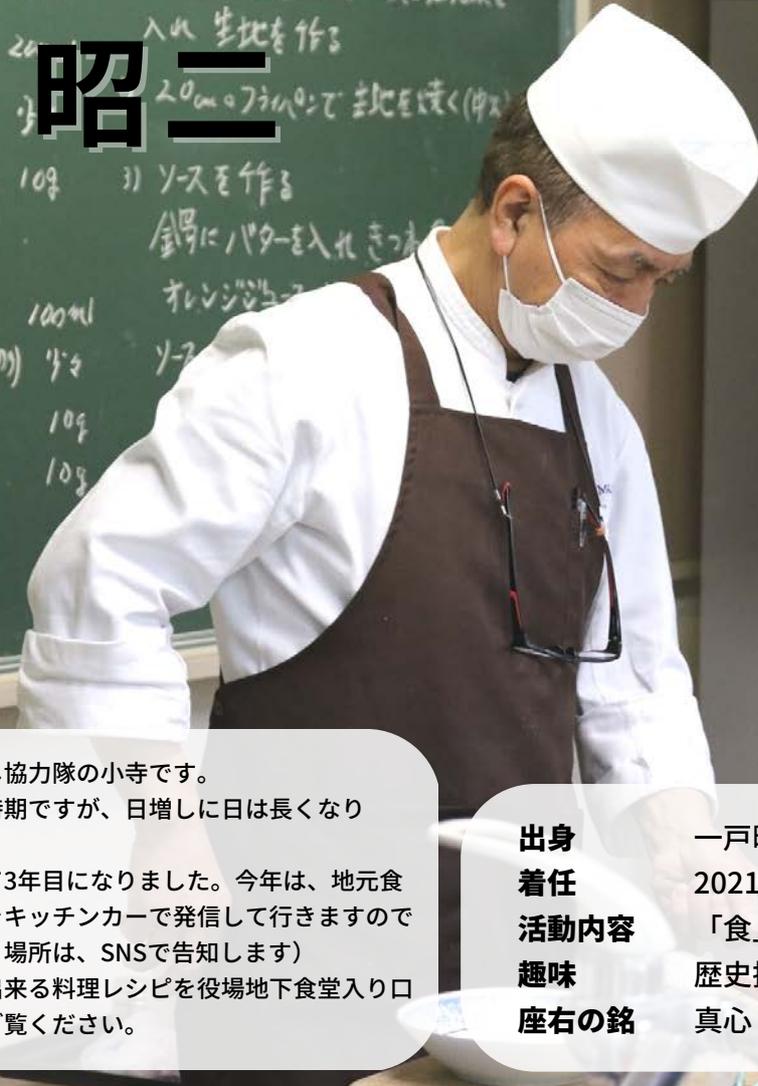


私はこれまで、家族やバスケットボールチームの一員、あるいは印刷会社の一員として、『チームで動く』という経験をしてきましたが、この3年間で、今まで自分がいかに『独りよがり』だったのかを思い知らされました。

私は、自分の意見を言葉にするのが苦手で、表情や空気、ノリでごまかすことが得意でした。ではなぜ、3年間続けてこれたのか、それは、自分が選んだ道に自信があったから、そして、独りよがりな私を受け入れて認めてくれる人がいたからです。

今後は、きびしくも、あったかい「自然」や両親をはじめ、身近な人への「感謝」を忘れず、経験を積んでいきたいと思っています。具体的には、山の恵みを暮らしに生かした事業を行いたいと考えています。知恵と経験を積み重ねて参りますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしく願いいたします。

小寺 昭二



こんにちは、地域おこし協力隊の小寺です。
まだまだ寒さの厳しい時期ですが、日増しに日は長くなり春はそこまで来ています。
今年で協力隊に着任して3年目になりました。今年は、地元食材を使ったご当地グルメをキッチンカーで発信して行きますのでご期待ください。（日時、場所は、SNSで告知します）
また、ご家庭で簡単に出来る料理レシピを役場地下食堂入り口に置いてありますので、ご覧ください。

出身 一戸町
着任 2021年1月
活動内容 「食」を活用した地域の活性化
趣味 歴史探訪、読書、温泉巡り
座右の銘 真心

地域おこしランチ



毎週木曜日、役場地下食堂に於て一戸町内の食材を使った地産地消のランチを営業しております。料理内容はSNSにて発信していますのでご覧ください。

他には健康をテーマに生活習慣病予防食も提供しています。

料理教室



親子料理教室
夏休みと冬休みの年2回、家庭で簡単にできる料理を作りました。
おやじの料理教室
お父さんを対象にお酒のつまみを作りました。

キッチンカー



- ・町内のイベント等に地域の食材を使った料理をキッチンカーで提供しています。
- ・月2回一戸駅でとんかつ弁当を販売しています。（第1,3月曜日）

協力隊 小寺昭二のSNS

毎週の地域おこしランチ等について発信していますので、ぜひご覧ください!!



本江創

出身 千葉県鴨川市
着任 2021年6月
活動内容 里山づくり（林業）
趣味 山や畑のしごと、木工
得意なこと 簿記会計

令和3年6月から、自然の恵みを暮らしに活かせる里山づくりをめざして活動している本江です。

伝統的な林業技術や多様な樹種の見分け方と活用、ツリークライミング技術を活用した樹木の手入れや伐採、山菜・木の実・キノコの育成、木工など、山にかかる仕事の修業を続けています。山に行く度に新たな発見や感動があり、毎日がとても楽しく充実しています。今は荒れている山でも、負の財産ではなく恵み豊かな山にすることができると確信できるようになりました。

（写真は伝統的な方法で伐採した丸太を搬出しているところです。）



里山を作る会



令和5年度から、御所野縄文遺跡周辺の里山づくりを進めます。

里山づくりを始めるにあたって、御所野縄文公園の里山づくりを20年間にわたって取り組まれてきた御所野縄文博物館の高田館長さんから今までの歩みについてお話を伺いました。

里山に人の手を入れた結果がどうなるかは、10年単位でしかわかりません。そのため、里山づくりの経験は長い期間の経験の蓄積が必要になります。より多くの人々が里山づくりに関わることで、その経験が世代を越えて共有されていくことが必要です。

協力隊 本江創のFacebookページ

活動内容については一戸町地域おこし協力隊 本江創のFacebookページで紹介しています。



小鳥谷中の桜伐採



旧小鳥谷中学校にある桜を伐採しました。

かつて記念樹として植えられたものですが、大きくなって周辺の敷地にも枝を張り出してきたため、伐採することになりました。卒業生の方々の思い出深い桜なので、何か記念になる木工品に活用できないか検討中です。周辺の構築物を壊さないように慎重に枝を落としてから伐倒しました。



（豪雨災害復旧）

昨年夏の豪雨で、土砂に埋まった林道の修復工事を行いました。

滝野 理香子



みなさま、こんにちは。

一戸町に移住（Uターン）して初めての冬を迎えています。もともと、奥中山の出身で雪なんてへっちゃらなんて思っていたのですが、寒いですね！雪道の運転はスリル満点ですね！雪かきは大変ですが、真っ白いキラキラした雪景色や木の枝に積もる雪を見ては、ほぼ毎日感動しています。

東京に住んでいた時に比べ、自分の足で歩くことが少なくなり筋力の衰えを感じます。娘とそり乗りや散歩をして運動をしようと思います！

出身	一戸町奥中山
着任	2022年4月
活動内容	観光業務
趣味	旅行
得意なこと	ジブリ名台詞かるた

活動報告



約17年ぶりに戻ってきたので、一戸町の観光を知るために様々な活動をやらせていただきました。

一戸町観光協会のお手伝いで観光PR動画の撮影や、優秀映画鑑賞推進事業の運営補助等を行い、一戸町の歴史を知ることが出来ました。

また、横浜で開催された物産展で一戸町の特産品や名菓を販売し、一戸町の魅力を伝えてきました。

現在は、実際に一戸町にきて楽しんでもらえるツアー等の準備に取り組んだりしています。

協力隊 滝野理香子のInstagram

協力隊 滝野の活動の様子を紹介していますので、是非ご覧ください！！



スタンプラリー



奥中山高原(株)主催の『奥中山高原にぎわい市』にて、私がリーダーとなり『奥中山高原にぎわいスタンプラリー』を実施しました。

この企画は、いわて子どもの森に来てくれている親子連れに『奥中山高原にぎわい市』を知ってもらいたいという想いで実施しました。多くの方にご協力をいただいた結果、6日間で子どもの森から300名程の方々がスタンプラリーに参加し、にぎわい市へと足を運んでくださいました。

ロゴやスタンプの絵柄をデザインしてくれた柴田外男さんにも感謝しかありません。これからも、奥中山の良さを伝えられるものを作り上げていきたいです。

一戸町公営塾



猪股正光

出身 一戸町女鹿
着任 2021年1月
趣味 新聞を読む、数独
得意 子ども達と仲良くなる

小林健司

出身 群馬県高崎市
着任 2020年12月
趣味 ランニング、温泉巡り
得意 簡単料理

長尾脩平

出身 宮城県仙台市
着任 2021年4月
趣味 国際交流、サッカー
得意 中国語、餃子作り

活動報告



一戸町公営塾では小学3～6年生を対象とした一戸町公営塾、中学生を対象とした土曜学習会の運営しています。また、夏期講習や冬期講習、料理教室などの各種イベントも実施しています。

小学生対象の町内5教室では各所で週2回の授業を実施しています。元気よく笑顔で「こんにちは！」とやって来て、やり切った表情で「さようなら！」と帰宅する塾生の様子を見て、私たちスタッフも頑張らなくては、といつも元気づけられています。

一戸町公営塾では「学ぶ力」の向上を目的に、塾生が日々楽しく学習しています。随時、入塾生を募集していますので、ぜひ一緒に楽しく勉強しましょう！

一戸町公営塾のFacebookページ

一戸町公営塾の活動の様子を紹介していますので、是非ご覧ください！！



体験学習



昨年9月末に公営塾で岩手町へ体験学習に行ってきました！石神の丘美術館では屋外の彫刻作品を見て、触って、登って、滑って、と思いきり堪能しました。

午後からは岩手町に住む彫刻家のケイト・トムソンさんの特別授業を受けました。彫刻作品を作る過程を体験したり、彫刻家としてのお仕事についてのお話を伺い、塾生はたくさんの刺激を受けたようでした。

最後はSDGsの観点から一戸町と岩手町の取り組みについてクイズ形式で学習しました。住んでいながらも意外と考えることのない隣町や一戸町について考えてみる良い経験になったと思います。

今後も塾生の皆さんが、自分の周りの「社会」に目を向けて、考えてみる体験学習を企画していきたいと思います！

普通の学習



放課後、明るい声で「こんにちは！」と挨拶をして入室します。塾の時間までは、宿題に取り組む・友達とお喋り・タブレット・読書をしたりと自由な時間を過ごしています。また、学校や休日の出来事を話してくれたり会場準備を手伝ってくれたり、時には子どもたちと一緒に遊んだりと楽しく過ごしています。

塾が始まるとピシッと気持ちを切り替えて学習に向かいます。気持ちが学習に向かない場合には、スタッフがそばについて声掛けをしながら学習が進んでいます。

子どもたちからは「テストの点数が良くなった。」「勉強する時間が増えた。」「本を読む習慣がついた。」「学校では話さない人と話すことが出来た。」「周りの人に教えられるようになった。」「など嬉しい言葉をもらうことが出来ました！

今日の学び



1コマ（50分間）の最後の10分間を「今日の学び」とし、『学ぶ力』を伸ばせるような学習を行っています。

例えば、「英語タブレット」「新聞記事を読んで感想を書こう」「さんすう楽」「オリジナル漢字を作ろう」「4コマお話作り」など、思考力・想像力を育む時間になっています！

また、昨年度よりパワーアップした内容で「オーストラリアの動画」「お話会」「企画と実践」（10分間で取り組みたい内容を話し合いで決めて実践する。今回は、宝探し・お化け屋敷・漢字部首バトル・お絵描き伝言ゲーム・鬼ごっこを実践しました。）など、児童が主体的に取り組んで楽しく学びのある時間となっています！

クリスマスには、普段学習に向き合っている児童たちにプレゼントとしてビンゴ大会も実施しました。

土曜学習会



中学生を対象に、今年度は8月後半から3月初めまでの計21回、土曜日の9:15～12:15までの3コマ、①英語、②数学、③自学の時間割で行っています。

会場は、一中生が19人―戸地区センターの公営塾で、奥中生は16人が奥中山地区センターの研修室で、部活の関係で3年生のみの参加となっています。従って、受験に向けた内容となり、それぞれの会場には英語と数学の先生を配置、また、大学生講師もお願いして、それぞれの会場でスタッフ6人が支援にあたっています。

毎回行っている「今日の振り返り」を見ると、自己評価がAの子が多く、自由記述では「√が入った乗法公式ができるようになって良かった。」や「先生方に分からない問題を教えて頂き、忘れていた部分の復習ができた。」などの感想があり、自分の成長を実感しながら学習を進めているようで、スタッフとしても嬉しくなります。

親子料理教室



今年度、夏期は7/9(土)―戸地区センター、7/10(日)小鳥谷地区センター、7/16(土)奥中山地区センターで、キーマカレーとフルーツヨーグルトを作りました。

冬期は1/8(日)―戸地区センター、1/9(月)奥中山地区センターでチキンのクリームシチューとクレープシュゼットを作りました。

事前に係の方で下準備をした上で、当日は10時20分集合で開会、小寺シェフのデモンストレーションを見て、その後親子での料理の時間となります。兄弟の参加や場所の関係もあって、それぞれにできることを分担・協力しながら作りました。そして12時頃、みんなで美味しくいただきます！お話を楽しみながらの幸せなひと時となりました。「初めてシチューを作って楽しかったです。」「野菜をちゃんと切れてよかったです。」「次はオムライスを作ってみたいです。」などの感想が寄せられました。

地域おこしニュース!



◀柴田外男さんProfile
 1940年2月7日生まれ。
 一戸町文化賞の他、岩手
 芸術祭で芸術祭賞を2度
 受賞。岩手広告美術展で
 も受賞歴多数。
 小さい頃から絵を描く
 のが好きで、「自分は絵
 で食べる」と心に決めて
 いたそうです。

「2023 柴田外男展 ふるさとの心を描く。」を開催!

柴田外男展実行委員会委員長 大平直人 (一戸町地域おこし協力隊)

柴田外男展実行委員会は、2023年2月4日～12日に、一戸町奥中山在住のグラフィックデザイナー、柴田外男さんの個展(以下、展覧会)を盛岡市のギャラリーアイーナで開催しました!展覧会では、主にB1サイズ(1030mm×728mm)の作品など約180点を一堂に展示し、シバワールド全開で、訪れた方々の心をほっと和ませました。

柴田外男さんの作品作り

町で見かけるチラシやポスター、お菓子のパッケージデザインなど、そのほとんどがコンピュータで作成されています。しかし、柴田外男さんが手がけるデザインは全て手づくりのため、「うるおい」や「ぬくもり」を感じさせてくれます。



▲新作: グリーンの里 奥中山高原2023

柴田さんは、いつまでも失いたくない風景や原点を思わせる「ふるさと」を題材にした作品を多く手がけ、静かに丁寧に、岩手の魅力を発信し続けています。

実行委員会の活動

柴田外男展実行委員会は、柴田さんの作品の魅力を感じるように広めるべく、6名のメンバーで発足しました。

その活動内容は、主に展覧会の周知と準備、柴田外男作品集の作成と資金の工面でした。

活動資金は、協賛金や募金、実行委員主催のフリーマーケットの売上金などを充てました。



▲作品の1点1点を慎重にフレームへ…。 ▲展示会前日の搬入作業の様子

終わりに…

柴田外男展の開催にあたり、町民をはじめ、多くの方々にご支援いただいたこと、感謝いたします。また、激励して下さった実行委員会の皆さま、いつも笑顔で迎えて下さった柴田外男さんと奥様のみね子さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

編集後記

このたび先代から瓦版を引き継ぎ、編集を担当することになりました。協力隊の長尾です。普段の業務では一戸町公営塾で小中学生の学習をサポートしています。

学校ではまだ習っていない単元や自分の苦手な問題に対して果敢にチャレンジしている塾生の姿をみて、私も何か新しいものにチャレンジしたいと感化され、瓦版の編集にチャレンジしてみようと思えました。

今回は右も左も分からない中での編集で、多くの方々におんぶにだっこでお世話になりました。ご助力いただき、本当にありがとうございました。

さて、まだまだ寒さが厳しいこのごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私はラジオを聴きながら、雪かきをするのが日課になっています。毎朝の雪かきが良い運動になり、運動不足が解消されて、雪が積もり始めてから体の調子がとても良い感じですよ。もうすぐ春が来ると思うと、嬉しいような寂しいような。

来年度もこれまでの活動の反省を踏まえて、一戸町の子どもたちが楽しく学べる環境づくりに邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

そして、パワーアップした瓦版を発行できるように編集も頑張ります!

一戸町地域おこし協力隊
 長尾 脩平